

だれでも幸せになれる教えです!!

ひかり

2022 年

5 月

201号

◇ 誰でも救われる教え法華経
◇ 妙法には如来の神力がある



ありがとう

おかげさまで



宗教法人 真生会

信仰の視野を広げよう

『自分から家族へ、家庭から社会へ』

真生会の教えとは！

仏さまの智慧とものの見方を身に付け、自分の運命を変え、在家の法華経教団です。宗旨宗派は問いません。どなたでも安心してお越し下さい。

◇慈悲の世界「真生楽園建設」

- ・ぬくもりと安心のある家庭と社会を作る
- ・思いやりと親切の実践

◇即身成仏「輝く自分作り」

- ・ありのままに輝く自分自身になる
- ・笑顔と明るい声かけの実践

◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るい心：（きつとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（皆、仏の子）

創立 43 周年 **立 教 祭**

2022 年4月 17 日
ハイブリット開催



会長先生のご真教法話

春爛漫の恩師の池



満開の八重桜に包まれる開祖さまご夫妻

立教祭ダイジェスト 43th



お経を読む真悠子ちゃん 5 歳



教団旗を先頭に導師式衆



一心行リモート表彰、岩手県望月恵洋様



一心行表彰、横井志奈子様



昼食を楽しむ青年部役員

新規役員任命

- ・ 参与 谷口祐晟（大阪教会長）
- ・ 参与 土川順寛（名古屋教会長）

上記の者、長年の布教功績を称え、真生会参与に任命し、
教団、教会の後継布教者養成に尽力されることを期す。
任期は 3 年再任は妨げない。 令和 4 年 4 月 17 日

開祖さまのみ教え

開祖 田中偉仁 たなか ひと



正直、真面目は人間として美点ではありませんが、向上心なき人、人の良きことは学び取ろうという考えのない人は、第三者から眺めると一刻親父こくおやじと最後嫌われてしまいます。親といえど

も、子供の優れた考え方や孫の行動を目にしたら直ちに学び取ろうとする親には魅力があり尊敬されるのです。年を取ってカラオケで歌い、ゲートボールで健康保持をし、形の面では結構な世の中ですが、家へ帰れば淋しく孤独感に襲われ、何のために長生きをしたのか、何のために子供を育てて来たのか、自分で自分が分からなくなってしまいう老人もいるでしょう。

年はとつても、常に時代の動きを知り、若者の意見や良い点を少しでも自分に取り入れようとする心構えこそ、進歩的な正しい姿勢であり、若者から人気が出る秘訣であり、発展の近道なのです。話の分からぬ一刻親父になつてはならない。

(1985年、真実に生きるひかり55号より)

ぶ真教法話

会長 田中庸仁 たなか かつねひと



◇誰でも救われる教え法華経

釈尊滅後、仏教は小乗仏教と大乘仏教の二つに大きく分かれました。小乗仏教は、出家して僧侶となり、世俗を離れて自分磨きの厳しい修行をして「自分が悟りを開き仏となる」教え、いわゆる出家仏教です。大乘仏教は、そのままの日常生活を通じて「すべての人が仏となる」教えが在家仏教です。

釈尊は涅槃ねはんを目前にして「われ成仏してよりこれまで、説くべき機が熟していなかったので、未だ真実を説いて来なかったが、今決定して大乘けつじょうを説く」と仏が世に出られた本懐ほんかい（本来の願い）を説き明かされたのが法華経です。

特に法華経は、大乘仏教の中でも代表格の教えであり、諸経中の王と言われ

ています。その法華經の前經まえぎようである無量義經の中で、大莊嚴菩薩だいしようこんぼさつが対告衆たいごうしゆう（仏が教えを説かれる聴聞衆ちようもんしゆう）を代表して涅槃が近づかれたお釈迦さまに究極の質問をします。

「世尊よ、世尊亡き後、仏の悟りを求める私たちが、どのような教えを実践すれば、まっすぐに遠回りすることなく悟りに到達し、幸せな人生を送ることができますか？」

それは無量義の教えであり、法華經の中に詳しく説いてあると教えられたのです。そして、私たち凡夫ぼんぷが「煩惱や五欲」を持ったまま、この身このままで心身を浄め、普通の生活をしながら、この娑婆の現実世界で誰もが仏となれる道を説かれたのが「妙法蓮華經」です。

◇妙法には如来の神力がある

法華經には「妙なる力」と「法の力」があります。つまり、法華經は二段構えの教えです。

妙とは「祈りの力」であり人智を超えた不可思議な救いの力です。

法華經神力品21に、この法華經には「如来の悟ったすべての真理、如来の持

つ自由自在のすべての神力(救いの力)、如来の心に秘めたすべての重要な教え、如来が身をもって実践したすべての経験」というスーパースーパーパワーがあると説かれています。

法とは「成仏するための正しい生き方。正しい教えの実践方法、八正道、六波羅蜜」のことです。つまり、法華経はたくさん教えを聞いて実践した時に現れる功德と真剣な祈りの力によって絶大な力で守られる功德の二本立ての経験なのです。

◇人間の生き方の種類

①報恩の生活・・・仏の恩、師の恩、先祖の恩に守られて生きる人生。

②忘恩の生活・・・自力だけで、仏・師・先祖のご守護のない人生。

人生には上り坂、下り坂、まさかの三つの坂があります。

上り坂下り坂は自力と努力の結果であり、成功・不成功の世界です。

まさかには、二通りあります。思いもよらぬご守護がある人生と思ってもよらぬ災難や病気に合う人生です。いざという時に神仏のご守護があるか否かです。

③目に見えるものだけを信じる人生

信仰心がなく、先祖供養や徳積みのない生き方。

金、物、学歴だけを頼る視野の狭い、お蔭（目に見えない力）が及ばない心貧しい生き方です。

④ 目に見えないものを信じる人生

信仰心があり、先祖供養や陰徳（いんとく）を積む生き方。

努力を超えたお蔭（仏力、師力、親の力）を頂く心豊かな生き方です。

◇ 妙なる力の現実

ある熱心なご信者さんから、法座の帰宅途中に緊急の電話がありました。

「先生、ガンの末期で自宅療養中の新家（あらや）の弟嫁が、様態が悪くて苦しがつています。往診に来てもらった医者が痛み止めのモルヒネを注射してくれ、少し落ち着いていますが、どんな徳積みをしたらいいか教えてください」と悲痛なお電話です。時間は午後二時三十五分でした。真生会の秘儀である時の真理、自然法で見て「お気の毒ですが、徳を積んでもこの方はもう寿命だと思っています。長くとも半日（短ければ七、八時間）です。覚悟をしてご家族が早く集まった方がいいですよ」と申し上げました。「先生それでも、何とか楽になるように

徳積みさせてもらいますから、お祈りしてください」とのお願いでした。

「解りました。積んだ徳は絶対無駄になりません。教会に帰ったらすぐにご祈願します」と電話を切り夕方五時半頃帰宅し、早速御宝前で法華經の方便品と寿量品、陀羅尼品だらにほんを「〇〇さんの心身が安らかに穏やかになりますように」と願いを込めながら何回も唱えました。

翌日「先生有り難うございました。昨晚十一時ごろ亡くなりました。でも奇跡が起きました」とのご報告がありました。

モルヒネで意識が朦朧もうろうとして眠っていた弟嫁が、夕方五時半ごろ（陀羅尼のお経を上げていた頃です）意識が戻り、ベットに何とか起き上がり、集まった家族にお礼を言い、可愛がっていた幼い外孫に言葉をかけ、のどが渴いたと水を飲んで、その後苦しむことなく穏やかに眠るがごとく息を引き取られ、悲しみの中にも皆が『なぜ急に意識が戻り、様態も楽になったのだろう』と不思議がっていましたと電話がありました。

法華經の陀羅尼品は仏の神力を頂く呪文じゅもんです。一般によく唱えられている般若心經も呪文です。真剣に唱えることによって六十二億恒河沙ごうがしゃというはかり知

れない諸仏のご守護の力が頂けると經典にあります。

かつて東尋坊^{とうじんぼう}で投身自殺した家族の遺体が上がらないので、お祈りの霊符が欲しいと頼まれたことがありました。水死したご遺体は一旦は浮かび上がりますが、その後沈んだら二度と浮かび上がらない（きつと水を吸うため）と言われます。しかし、切なる願いでしたので、木のお札^{ふだ}に南無妙法蓮華經と書き、ご遺体が早く見つかりますようにと願文^{しる}を記し、法華經で一心にお経をあげた霊符を海に投げ入れ、お祈りするようにお渡ししました。すると不思議にも一週間もたっているのに、波の高い日本海に浮かび上がったのです。

詳しいお経が分からなくても法華經のすべての秘密神通のエネルギーが凝縮された呪文が「南無妙法蓮華經」のお題目です。

世の中は「ご縁の世界」です。いつ何時^{なんとき}、どこで災難災害に遭遇するかもしれません。災難に合わない方法は、平素から妙法のお経を唱えて仏力・師力を念じ、ご法をたくさん聞いて実践し、先祖供養や生霊供養などの例月供養の徳積みをおかず続けて行くことが、まさかの災難に合わない妙法であり、大難が小難、小難が無難に守られる、妙法とは「よみがえる教え」なのです。

釈尊物語

(21)

◇◆造反する弟子たち

名利（名声と利益）が道を見失う◇◆

人間は名利（みよつり）への果てしない欲望の結果、進むべき人生の道を誤ることがあります。名利とは、世間的な名誉名声（自分の立ち場）と現世利益（金品への執着）に対する欲望です。

釈尊には提婆達多（だいばだつた）、イエスキリストにはユダ、親鸞（しんらん）には善鸞（ぜんらん）（長子）がそれにあたります。

ユダはある日、イエスの叱責（しつせき）に反感を持ち、金目当てでユダヤ教の祭司長たちにイエスを売って報酬（もら）を貰いイエスを裏

切りますが、のちに後悔して自殺します。

善鸞は、親鸞の長子であるという地位を利用し、師の教えを都合のいいように捻じ曲（ねま）げ、道を間違い破門となりました。

提婆達多は釈尊の従兄弟（いとこ）であり、釈尊教団の草創期に出家した優秀な弟子の一人でしたが、仏法からそれて造反する転機となったのは、名利の誘惑でした。

「欲深き人の心と降る雪は、積もるにつれて道を失う」（高橋泥舟）純粹で素直であつた初心も、時と共に出世欲や名誉欲、金銭欲で道を間違ふのは、仏弟子でも一般人でも気を付けなければならぬ落とし穴です。

提婆達多はマガダ国の王子、阿闍世（あじやせ）が帰依し、あつた利養を受けることとなり、

他の弟子たちの羨むところでした。

釈尊はそれを戒めるように「比丘たちよ、提婆達多の名利を羨んではならない。彼のためにかの王子がそのような供養をするということは、比丘たちよ、それによつて提婆が得るところは少なく、失うところは大きいであろう」

「財を失うことの失は小さい。失の中でも最も大きいのは智慧を失うことである。財をうることは小さな得であり、智慧をうることは最も大きな得である。人は智慧の得によつて栄えるのである。」

提婆達多は、阿闍世王子の帰依をうけ、莫大な利供養を供せられて有頂天になり、慢心となり道を間違えたのです。ある日の釈尊の説法の後、提婆が起つ

て師の前に進み申し上げました。

「世尊よ、世尊はすでに高齡になられましたので、あとは安穩に余生を楽しませられ、比丘たちや教団を私にお任せ下されば、私が統理致しましょう」と繰り返し僧伽（サンガ）の指導権を譲るよう強要しました。提婆の名利を見抜かれていた釈尊は、「あなたには任せない」と強く拒否されました。以後、名利に目が眩んだ提婆達多は、悪行を重ね急坂を転がり落ちる岩のように転落し、地獄に落ちたのです。

自分が偉くなったと思え始めたら、人生下り坂です。仏恩、師恩に報いる人生を心掛けることが、幸福と成功の礎となるのです。

今月の運勢（6月）

（2022年6月6日～7月6日）

一 白水星

山にぶつかって前進しにくい状態。じつと立ち止まっていれば活路が見出せる。前進するなら経験者の意見を聞くこと。あえて無理せず、柔軟に粘り強く、正しく行えば困難を切り抜けて吉となる。

二 黒土星

不遇の時。周囲の成功や輝かしさから取り残された感がある。苦難にあっても志を失わず、希望を持ち続けられれば利あり。本心を内に秘め、掴み所のない態度で切り抜けよう。

三 碧木星

運気は低いが難問題が

すべて解決していく。

先祖供養の徳積みで植物の芽が堅い種の殻を破って出てくるように道が開く。さしあたって問題がなければ余分なことをせず安静にして時を待てばよい。

四 緑木星

自分自身を振り返り、周囲から尊敬され認められるような言動を心掛けること。優しさと素直さで人の信用が得られる。大きなことを願わず、コツコツと基盤作りに励めばよい。

五 黄土星

運気は朝日が昇るように確実に上がっていく。但し、何事も慌て

ずゆつくりと進めていくとよい。明るい挨拶

や元気な行動を心掛け、特に若者とのふれあいを大切にしよう。

六 白金星

運気は絶好調。出会いの妙がある。突然の出会い、望まない出会い、世の中は縁によつて変化していく。悪い出会い、異質との出会いも活かせばすべて吉となり前進の活力となる。

七 赤金星

来るべき大きな決断の時に備えて心身ともにエネルギーを蓄える時。腰を据えてどっしり構え、周囲の状況をよく把握すること。周

囲もあなたの動向を注視している。むやみに動かないこと。

八 白土星

大いなる収穫が得られ充実する。個人的な蓄財ではなく、公のため尽くし、徳を蓄えることが大切。動かざること山の如く、疾きこと風の如し。静と動の切り替えて難関突破。

九 紫火星

楽しく仲睦まじい出会いの半面、衝突やトラブルも起きやすい。ちよつとした軽口で摩擦が生じるので注意しよう。日常の小さな違いや出来事にあまり気を使い過ぎないこと。

「まごころ誌代」御礼

樋口恵美子	久保絹明	佐藤百々枝	多田敏春	加藤圭子
樋口容子	笹原トミ子	佐藤光洋	多田佳央	松尾定弘
細谷早予子	笹原正子	山本季美衣	大橋末子	田中庸仁
谷口祐晟	宮島りえ	木村正美	黒田京子	田中佑季子
谷口祐子	村上視佑記	伊東 晃	多田正幸	田中光隆
今井純司	坂本育身	安田初子	多田道子	田中理夏子
今園花菜	大下裕子	増田恵美子	水田祐記子	田中啓子
松下若葉	平口富子	京川春男	亀井善二	田中宏明
石丸祐規子	堀田純子	鈴木正巳	澤 君美	田中花音
荒木敬依子	某女	滝本光夫	澤 芳子	亀井善広
滝山恵依子	清崎聖良	四日市某	加納優子	亀井由実子
坪井佑介	今井龍廣	福元正子	加納悠貴	高橋身衣
奥田佳代	某	桑原聖子	加納宏樹	足立和美
林田哲嘉	土川順寛	川添八千代	加納快志斗	笠井和樹
小村友子	土川恭代	東森弘和	横井志奈子	笠井隼太
小林佑実子	土川康二	松本真由美	横井明彦	笠井稜介
永田雅子	土川廣美	高橋けさ江	豊田直正	早野起世
出田 梓	横山知津子	岸本周夫	豊田真悠子	宮田雄貴
正木みつ子	半澤照子	岸本昌子	大橋千枝子	加納啓至

★皆様の『まごころ次第』献金のご協力によって継続発刊しています。
紙面をもって感謝申し上げます。(敬称略・順不同)

《入会のご案内》

真生会は、個人の心の勉強と実践を目的とする個人会員制です。各家の
宗旨宗派はご自由です。詳しくは総本山真生寺、各教会にお尋ね下さい。

☆会員会費 500円/月

発行所 宗教法人 真生会 総本山真生寺
〒501-1105 岐阜市彦坂178番地
TEL 058(235)7304

発行人 会長 田中庸仁

振込先 三菱UFJ銀行 岐阜支店
普通口座 3715509

名義 宗教法人真生会 代表役員 田中庸仁

しあわせ眼鏡

失敗に対する姿勢の違いで、その後が大きく変わる。失敗の原因の多くは、成功する前に諦めてしまうことだ。最後の最後まで諦めてはいけない。

松下幸之助の名言より

お気軽にご連絡ご相談下さい

- | | | |
|----------|-----------|--|
| 【総本山真生寺】 | 〒501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地
T E L 058 - 235 - 7304 |
| 【岐阜教会】 | 〒500-8882 | 岐阜市西野町 3 - 19
T E L 058 - 262 - 9615 |
| 【大阪教会】 | 〒532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10
T E L 06 - 6308 - 5637 |
| 【名古屋教会】 | 〒454-0808 | 名古屋市中川区九重町 3 - 10
T E L 052 - 351 - 3904 |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送りします。詳しくはお尋ねください。